

**WFOT Congress 2014 プレコンGRESワークショップ**  
**ワークショップ概要**

|            |  |
|------------|--|
| セッションカテゴリー | 半日ワークショップ  |
| セッションコード   | PW 19  |
| セッションタイトル  | 作業療法士のためのプレイバックシアター  |
| セッション企画者   | Aki Komori   |
| キーワード      | 革新と挑戦, 作業療法教育, 専門家の養成  |
| ワークショップ概要  | <p><b>【学習・実施の目的】</b>本ワークショップの目的は、プレイバックシアター(PBT)という即興劇の手法を通して、各国の作業療法士(OT)が交流を深め、作業療法実践や教育について情報交換をすることです。PBTは、1975年にFoxが創出した即興劇である。コンダクター(司会進行役)が観客の体験をインタビューし、それをアクター(役者)がすぐに演じるもので、教育、医療福祉、子育て、復興支援、男女共同参画などの分野で実践されています。</p> <p><b>【教育方法】</b>発表者がファシリテーションし、参加型の実習形式で行う。知り合うためのゲームから始め、自発性や創造性を高めるエクササイズを行った後、PBTを用いてお互いのOTとしての体験を共有します。誰かが講師としてあるべきOTの姿を講義するのとは違い、PBTを用いることで、そこにいる参加者のこれまでの経験から、他の参加者が学びを得る形式です。本ワークショップでは、参加者がテラー(語り手)やアクターを体験する。PBT 初心者でも安心して取り組めるよう段階を踏んで行います。</p> |
| 人数         | 5-25   |